

苫小牧市立清水小学校学校便り

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp
第 2 号 平成30年5月23日発行

伸びる伸びる 清水の子 校長 松 井 操 人

5月に入っても肌寒い日が続いていましたが、ここ数日はようやく暖かく感じられるようになってきました。桜の季節が過ぎると、新緑の季節。そういえば、校庭の木々もいつの間にか緑が濃くなったような気がします。

植物の成長はとてもゆっくりとしているので、葉をじっと見つめていてもその繁り具合の変化はわかりません。毎日同じところにあって毎日見ているはずの木でも、その成長にはなかなか気づかないものです。でも、あるとき急に葉が大きくなったり枚数が増えたりするわけではありませんから、そのときそのときで木々はゆっくりと、そして確実に成長しているのです。

植物に限ったことではありません。子どもたちも、見る見る大きくなったりすることはありますが、少しずつ少しずつ成長しているはずで、体の大きさはまだわかりやすいほうで、心の成長ともなるとますます気づきにくなります。それでも私たちおとなは、子どもたちの成長にいち早く気がついて、成長を認める言葉かけをしてあげたいものです。その言葉を栄養にして、子どもたちはさらに成長するからです。

5月18日(金)、道東の芽室町にお住まいの、カメラマンでもあり、撮った写真で絵本を作る「写真絵本作家」でもある小寺卓矢さんを学校にお招きし、6年生の道德の時間に授業をしていただく機会がありました。美しい植物の写真や絵本を見せてくれないながら、葉っぱ一枚一枚には個性があり、いのちがあるんだよと教えてくださいました。「人間と同じだな」とか「命はつながっているんだ」など、子どもたちは大切なことに気がついたのではないのでしょうか。



新緑を詠んだ俳句を一つご紹介します。

『いっしょだよ』 小寺卓矢：
写真・文 アリス館：発行

「新緑の あの木この木の 鬱々（うつうつ）と」 山口青邨^{せいそん}

「鬱々と」というのは「草木が生い茂っている様子」です。どの木もみな「生い茂る＝成長する」様子を表現したこの句は、新緑の季節にふさわしい、私の好きな俳句の一つです。

さて、6月9日は本校の運動会。お子さんの成長ぶりが確かめられるいい機会です。ご来校のうえ、子どもたちに声援を送っていただければ幸いに存じます。今年から、お昼には全競技を終了し、昼食を取らずに下校いたします。

